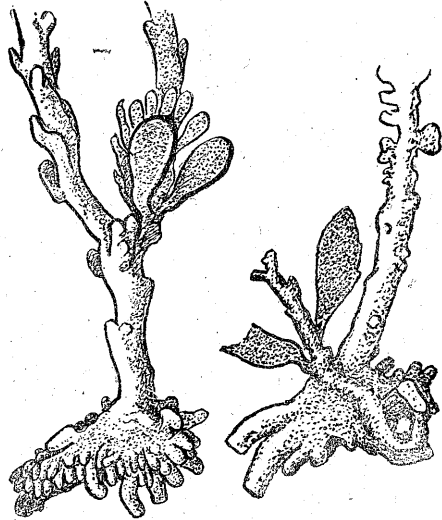


○みやべもくノ基部 (山田幸男)

みやべもく (*Sargassum Miyabei* YENDO) ハ故遠藤吉三郎博士ニヨツテソノ *Fucaceae* of Japan (東大理科紀要 21 卷 12 編, 明治 41 年, p 112) = 於テ記載セラレタ種デ陸奥灣、渡島邊カラ北海道西部日本海沿岸、宗谷海峡ヲ經テ北見國沿岸、南千島國後島邊迄分布シ、又滿洲國大連附近ニモ發見セラレテキルモノデアルガ、上記ノ原記文ニ於テハソノ基部ノ記載ハ無ク其後何人ニヨツテモ記載ハ與ヘラレテキナイ。シカモソノ基部ハほんだわら屬ノ他ノ種ニハ見ラレナイ型ノモノデアルカラ此處ニ報告スル。即チ基部ハ直徑 1 cm 足ラズノ極メテ小サナ盤狀デアルガ、面白イコトニハ成育スルトソノ周邊カラ短イ纖維狀ノ根ヲ多數發出スル。シカモ此等ノ纖維狀根ハ決シテ長ク伸ビルコトハナイカラ往々見逃サレ勝チデアル。元來ほんだわら屬ノ基部ニハいそもく等ニ見ル纖維狀根、ほんだわら、あかもく其他ニ見ル假盤狀根、うみとらのを等ニ見ル盤狀根、おぼばもく、のこぎりもく等ノ圓錐狀根、ねぢもく、ならさもノ如キ不規則ナ匍匐根等ガ區別サレルガみやべもくノモノハ此等ノ何レトモ異ナツタ型デアル。



みやべもくノ附着部 ×4

○ヤラップト おしろいばな (久内清孝)

今ノ世ニ科ヲ異ニスル此ノ二者ヲ混同シタリ誤認シタリスル人モナカラウガ、曾テハ之ガ混同サレタ時代モアツタ。即チ文政 5 年 (1822) ニ上梓サレタ遠西醫方名物考卷三十六、名物圖攷十一丁ノ表ニハ^{ヤラップ}刺巴トシテおしろいばなト思ハレルモノガ圖シテアル即チ茲ニ示ス凸版ガソレデアル。此ノ圖ヲ見ルト、本物ノヤラップヨリモおしろいばなニ最モ酷似スル事ハ何人ニモ異論ナカラウ。本書ハ宇田川榛齋ノ著デアリ、且ツ男榕菴ノ校補ニカ、ルニモ拘ラズ、斯ノ如キ事實ガアツタノデアル、蓋シおしろいばなノ種名トヤラップノ名稱トニ共通ノ點ガアリ、マタ當時眞正ナヤラップガ知ラレテ居ナカツタガ爲デアラウ。

○苔、蕾、蓓 (久内清孝)

剪花翁傳前篇 (嘉永 4 年刻) 卷之二ニハ、蕾ノ若キモノヲ蕾トシ更ニ進展シ開花ニ近キモノヲ蓓トシ、ぼたんヲ例ニシテ圖ヲ示シテ居ル (挿畫参照)。更ニ同書ト關係淺カラズ中山雄平著實驗直傳草木保育剪伐法 (明治 26 年) 卷之二ニハ剪花翁傳ノ圖ヲ轉載シテ居ルガ、



同書卷之一、五丁、花形分解之圖中ニハ 萼、蕾、蓓ト區別シテ、順次蕾ノ發展ノ程度ヲ示スニ務メテ居ル。勿論之ガ今日通用シテ居ルノデハナイガ、兎ニ角念ノ入ツタ見方デアル。實際問題トシテ、花ノ未開ノ名稱トシテ、單ニつぼみト云ツテモ展開ノ進度ヲ明カニシテ居ナイ、從ツテ此様ナ扱ヒ方ニモ若干ノ理由モアル。兎ニ角本草時代ノ一種ノ術語トシテ認メオク。

○芥子 (久内清孝)

芥子ハからシデアルガ、近頃之ヲけシト讀ム人達モアルノデ困ツタモノダト思ツタ處、草木保育剪伐法ヤ江戸時代ニ出タすゞめ草ナドモけシニ芥子ヲ亂用シテ居ル。尤モ之等ノ著者等ハ園藝家デ、特ニ學者ト云譯デモナカツタノデ、稱呼ノ形式ナドニハ深い注意ヤ、關心ヲ持タナカツタノデアラウガ、シカシ當時既ニスクノ如キ混亂ノアツタ事丈ハ疑フベクモナイ様デアル。

○ほしあさがほ (星朝顔) 新和名 (津山 尚)

細川隆英氏ガ *Ipomoea sepiparia* KOEN. トシテ ミクロネシアノヤップ 島カラ報告シター種ハ實ハ *I. triloba* L. デアツテ臺灣デモ亦以前カラ第一ノ名デ久シク誤認サレテキタモノデアル(細川: 臺灣博物學會會報 28 p. 156)。挿入ノ寫眞 A 及ビ圖 B ハ共ニ臺灣ニ於ルソレデアル。ソレデハ臺灣ニ於ル *I. sepiparia* ノ存在ハ誰ガ最初ニ記録シタカト言フニ、ソレハ恐ラク A. HENRY ノ A List of Plants from Formosa p. 65, ノ "*Ipomoea sepiparia* Koen. Takow Plain, Henry 1, 1954." デアル。早田博士ハコレラドウシタモノカ "Hab.